

今こそ家族・地域の「絆」を大切に!

この度「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」(自治会組織等への加入を促進する条例)が制定されました。京都は大都市でありながらも、地域コミュニティが確立されています。それはまさに京都の「地域力」、財産であり京都の発展に大きく寄与してきました。しかしながら、戦後豊かさ引き換えに人と人とのふれ合いが、煩わしさに変わり居住形態の変化等により京都市においても自治会組織等への加入率の低下が見られ危惧すべき状況にあります。昨年の東日本大震災では非常時における地域コミュニティの役割が益々重要であると痛感いたしました。

平成20年より、我が自由民主党市会議員団は条例の制定の提言を行い、この度条例の制定となったわけであります。

この条例がまさに地域住民による「地域力」の中興の礎となり自治会等の住民組織と京都市とのパートナーシップのもとで地域コミュニティの活性化が力強く推進されることを切に願うものであります。

保育所待機児童ゼロへ!

保育所の待機児童対策については、平成22年度、施設整備を推進し、420名の入所枠を拡大するとともに、23年度も引き続きの整備が進んでおります。今春には、**待機児童ゼロ**が実現する見通しとなりました。しかし、保育施設の耐震化率は全国平均を下回る状況であります。これからも、安心・安全のために、耐震化整備の推進を改めて求めるものであります。



この度、**教育福祉委員長**を拝命しました。自分自身、教育福祉分野に力を注いできた議員の一人として大変光栄に思います。しかし、それと同時に、市の予算の4割を超える大きい局の委員会、責任重大、身の引き締まる思いであります。教育再生、そして市民の皆さんが安心・安全に暮らしていただけるよう委員長として全力を傾注してまいりますので、皆様方の温かく力強いご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



京都市会議員

吉井あきら